

子どもの生活実態調査の実施について

1. ニーズ調査の目的

子どもの貧困が社会問題化している中、子どもの将来がその生まれ育った環境により左右されることのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図る子どもの貧困対策が重要となっています。

防府市では、就学援助（経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して必要な援助を行う事業）の認定率が小学校で 18.1%、中学校で 22.1%を占めていますが、子どもの貧困状況の実態が詳細に把握できていないため、その把握と支援ニーズの調査を目的として、小学 5 年生と中学 2 年生の児童・保護者、就学前児童の保護者を対象に「ニーズ調査」を実施します。

2. ニーズ調査の実施概要

(1) 調査対象

対象者	対 象 児童数	配付数 (配布割合)	ページ数 (予定)	抽出方法
就学前児童の保護者	6,962 人	1,000 人 (14.3%)	16 ページ	無作為
小学 5 年生の児童と保護者	2,030 人	2,030 人 (100%)	児 童 : 12 ページ 保 護 者 : 16 ページ	全数
中学 2 年生の児童と保護者	1,838 人	1,838 人 (100%)		全数

(2) 調査方法

- ・就学前児童の保護者・・・ 郵送による配付及び回収
- ・小学 5 年生、中学 2 年生の児童と保護者・・・ 学校を通じて配布及び回収

(3) 調査項目内容

- ・国が示している調査項目の具体的事例（下表参照）に則した内容、かつ、国や他の自治体
が実施した調査の結果と一定の比較が可能な内容を加える。

教育の支援	登校状況、勉強時間・場所、学校の勉強の理解度、放課後の過ごし方、教育関連の支出で負担に感じるもの、子どもの進学に関する不安等
生活の支援、保護者に対する就労の支援、経済的支援	世帯の構成、住居の状況、学歴、就業の状況、世帯の収入、親子の会話の時間・内容、子どもの食事・入浴習慣、起床就寝時間、テレビ・ネットの使用時間、医療機関のかかり方、子どもの健康状態等
家庭や子どもの具体的状況	支払延滞や購入できなかった経験の有無、子どもの物品、生活環境の充足度等

(4) 調査期間：平成 30 年 10 月中旬～平成 30 年 11 月中旬

(5) 実施スケジュール予定

・平成 30 年 10 月 10 日頃 調査票内容確定

・平成 30 年 10 月中旬 調査票発送（就学前児童の保護者と小学 5 年生の児童・保護者）

※回答期限は 11 月初旬を設定

・平成 30 年 11 月初旬 調査票発送（中学 2 年生の児童・保護者）

・平成 30 年 11 月末 速報値報告

・平成 31 年 3 月 結果報告